

平成30年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会
大腸がん部会議事概要

- 1 日 時：平成31年2月6日(水) 14:00～15:30
- 2 場 所：岐阜県庁 11 南会議室
- 3 出席者

	氏名	所属	備考
委員	名倉 一夫	岐阜赤十字病院 副院長	
	荒木 寛司	岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部長	
	三輪 佳行	岐阜県医師会 常務理事	
	窪田 裕子	岐阜市民病院中央検査部	
	後藤 裕美	市町村保健活動推進協議会 保健師部会（飛騨市）	
オブザーバー	伊藤 陽一郎	可茂保健所長	
事務局	稲葉 静代	次長兼保健医療課長	
	赤尾 典子	健康推進室長	
	井上 玲子	技術課長補佐兼係長	
	横山 ひろみ	技術主査	
	小寺 貴也	主事	

4 内容

- (1) 平成29年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部会議事
- (2) 岐阜県のがんの現状等
- (3) 市町村が実施する大腸がん検診の精度管理について
 - ア 正しいがん検診の実施
 - ・市町村大腸がん検診の2日法実施率をみると、97.2%となっている。市町村と検診機関の努力により、正しいがん検診の整備が進んでいる。
 - イ がん検診マネジメント
 - ・がん検診の「事業評価のためのチェックリスト」について、「×」のカ所が「○」となるよう、市町村及び検診機関に通知する。
 - ・検診機関に行ったがん検診の「事業評価のためのチェックリスト」実態調査の結果から、各検診機関が使用している検査キット及びカットオフ値が明らかとなった。要精検率が高い機関は、同じ検査キット使用しており、当該検査キットの使用が要精検率が高い要因となっている可能性がある。
 - ・市町村及び検診機関に当該結果を還元し、不要に要精検率が高い状況にないか、偽陽性の問題、がん検診受診者に不利益が生じていないか等、検討を促す。

ウ がん検診の受診率向上対策

- ・各市町村の受診者の特性に応じ、コール・リコールの実施等、受診率向上対策が必要

⇒上記について市町村及び検診機関に取り組みの実施を促す